

～はなのえん～

花宴

筆：公庄 章子様（あやめ入居者）

発行責任者

社会福祉法人積慶園

特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 大石 峰一

京都市山科区北花山大林町34番地

電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第27号 発行日：平成30年 8月 1日

自分自身が利用したいと
思える施設づくり



特別養護老人ホーム山科積慶園
施設長 大石 峰一

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。ご利用者、ご家族、地域の皆様には、日頃から温かいご支援とご協力をいただきまして心から、お礼申し上げます。

この度、古村前施設長の退任により、平成30年7月1日付けで施設長に就任いたしました大石峰一と申します。

施設長という舵取り役を仰せつかり、その職責の重大さに戸惑ってはおりますが、共に働く大切な存在の職員を理解し、ご利用者、ご家族の皆様と真摯に向き合い、ご利用者お一人お一人が長い生涯に少しでも“幸せ”を感じていただける、ゆとりある生活の場を提供させていただくよう取り組んで参ります。又、自分自身が入りたいと思える施設を目標に介護技術だけでなく、「笑顔」「挨拶」「言葉遣い」から質の高いコミュニケーション、チームワーク能力等を身につけるよう、取り組んで参ります。そして地域に根ざした施設作りを実現していきたいと思っております。

さて、私は、山科積慶園に平成20年12月開設時より生活相談員として入職し、特別養護老人ホームとショートステイを中心として業務に携わってまいりました。早いもので10年を迎えようとしています。私自身、措置制度から介護保険制度の今日まで、福祉業界に携わらせていただいておりますが、変わらぬ想いとしましては、「自分や自分の身内を利用させたいと思える施設作り」、これを追求し取り組んで参りました。

微力な私ではありますが、ご利用者がいつまでも健康で、そして笑顔で安心してお過ごし頂けるように、職員と一丸となり取り組んでいく所存です。これからも、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《お茶会》

久々の開催となった春のお茶会。

ボランティアの先生のご協力でお道具やお茶碗もそろった本格的なお点前を

して頂きました。着物姿の先生や職員に、少しかしこまったご様子の入居者様も

桜やつつじをかたどったお菓子が運ばれると「わぁ、きれい」「美味しそう」とぱっと顔がほころび

ました。甘いお菓子とお抹茶を味わい、中にはお茶をお代わりされる方もあり、ゆったりとした時間を楽しむことができました。(卯田)



《化粧ボランティア》

突然現れたギターを持った渡り鳥ならぬボランティアの方に、入居者様達は一瞬不思議そうな顔をされたものの、子供の頃歌ったあの曲、胸ときめいたあのメロディを思い出し、元気いっぱい歌います。そして歌の途中には、ちょっと抜け出しメイクルームへ。色とりどりのパレットも眩しいくらい。久々のお化粧に喜ぶ方に照れる方、仲良し二人でお互いに褒めあったり、あおいユニットでは、あちこちで笑顔の花が咲いていました。(木下)



《テラスでおやつ》

普段あまり外に出る機会が少ない為、1階のテラスでおやつを食べました。

その日は天気も良く、入居者様からは、「気持ちいいなー」「外で食べると美味しいなー」と、皆様大変うれしそうなご様子でした。天気の良い日のちょっとしたひととき……。今後も

テラスでおやつを食べる機会を作っていこうと思います。

(山崎)



《イベント食(うなぎ丼)》

記録的な猛暑が続く中、7月20日は土用の丑の日、うなぎ丼を提供しました。実は鰻の旬は秋～冬。夏の土用の丑に食べる習慣については諸説ありますが、体力も消耗するこの暑い時期に栄養豊富な鰻を食べるのは理にかなっています。入居者様たちは、大きな鰻がのった丼を見て「わぁ、ご馳走!」「うれしいわぁ」と声を上げて喜んでおられました。

涼し気な冬瓜の水晶煮や西瓜と一緒に、盛夏を満喫していただけたと思います。

(渡辺)



《夏のイベント》

◆パン食い競争



6月に、施設全体でパン食い競争を行いました。物干し竿に洗濯バサミでパンを吊るし、入居者様に口や手を使ってパンを取ってもらいました。最初は上手に取れなかった入居者様も職員が手伝ったり、声掛けをしたりして、悪戦苦闘しながらも何とかパンを取っておられました。



今回のパン食い競争を通じて入居者様の笑顔がたくさん見れ、私達もうれしい気持ちでいっぱいになりました。これからも入居者様が楽しく、笑顔になれるレクリエーションをどんどん企画していきたいと思います。(吉仲)



◆ヨーヨー釣り



7月に各フロアでヨーヨー釣りを行ないました。たらいに水を入れて色鮮やかなヨーヨーを浮かべ、ゴムに釣り針をつけた道具でヨーヨーを釣ります。なかなか釣れずに悪戦苦闘される入居者様、職員の助けを借りずに上手に釣り上げる入居者様それぞれいらっしゃいました。なかなか釣れない入居者様も、もちろん職員が手伝い、ヨーヨーを釣っていただきました。上手な方は、こよりに針を付けた道具を使い、そのこよりも破れる事も無く釣っておられました。



入居者様の笑顔が見られ、とても楽しいヨーヨー釣りのレクリエーションとなりました。今回好評だったのでヨーヨー釣りは来年もまた開催したいと思います。(澤村)



~~~~ 医務室だより ~~~~

総務省消防庁は7月9日から15日までの1週間に搬送された熱中症患者が全国で9956人(速報値)になったと発表がありました。猛烈な暑さが続いていることが影響し、前週の3.7倍に急増しています。熱中症かなと感じたら…

①電解質を十分に含む飲料での補水!

スポーツドリンクや、0.1%~0.2%の食塩水を使って水分補給しましょう。また、脱水の際にお茶や水は体内の電解質を薄め、さらに症状が悪化する事があり、暑い時期には経口補水液を常備しておくといでしょう。

②体温上昇を防ぐには、太い血管が通っている所(首や脇、足の付け根)を氷や保冷剤で冷やし、血液の温度を下げる事が重要です。冷却シートは、冷たさを感じますが、改善しないのであまり役に立ちません。

③エアコンや扇風機を上手に使い暑さを避け、肌寒い時は、羽織もので調整しましょう。



デイサービスセンター

ぬくもり



4ヶ月の行事



《4月：お花見ドライブ》

3月末から4月の初めにかけてお花見ドライブに出かけました。車内からでしたが、皆様口々に

「きれいやねえ」「長生きしてよかったわ」と喜んでくださっていました。

今回は市内の開花が早く、後半には大津方面にも足をのびしました。どちらも見頃を迎えており、とても美しかったです。特に木屋町通りの花吹雪は見事でした。



《5月：買い物レク》

お花見が終わって5月の後半には外出レクとして北白川のスーパーと浜大津のアーカスへ買い物へ行きました。スーパーでは皆様それぞれに商品を手にとって次々とカゴの中へ入れておられました。特に女性の利用者様はたくさんの商品を前に目を輝かせ、買い物を楽しまれました。

また、アーカスでは買い物はもちろんのこと、琵琶湖を眺め、景色も楽しむことができ、皆様大変満足されていました。



《7月：モビール作り》

ぬくもりでは毎年夏の作品として、うちわ、行燈、風鈴など作っています。今年は何を作ろうかと職員みんなで考えた結果、星のモビールを作ろうという事になりました。



モビールは紙やプラスチック等の軽い素材でできた飾りを糸で吊りしたおもちゃです。五色の色画用紙で同じ形の星形を切り、三枚一組にして三枚を立体的に合わせて一つの星形を作っていきます。そしてビーズと星形を交互に紐に取り付けます。三本出来たらそれを輪っかの周りに取り付けて完成です。三枚の立体的な星形を作るのは意外に難しかったようですが、みなさん上手にできました。

窓際に飾ると風で揺れ、きっと爽やかな気持ちになると思います。

《7月：夏まつり》

7月後半には恒例の夏まつりを行いました。金魚すくいでは皆様上手にすくっておられ、ポイが完全に破れるまで、一生懸命頑張っていました。射的コーナーでは昔を思い出し懐かしみながら的を倒していました。おやつには白玉ぜんざいを召し上がり、楽しい夏まつりとなりました。



*****編集後記*****

甚大な被害をもたらした集中豪雨から一転して酷暑の日々が続いています。ニュースでは毎日のように熱中症の注意喚起がありますが、皆様対策はしっかりとされていますか？扇風機やクーラーを適度に使い、十分な睡眠・水分補給をし、この夏を頑張っ乗り越えましょう！！（杉本）